

第2回 プラズマ医療・健康産業シンポジウム

日時 2011年12月15日(木) 10:00-17:30

場所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館 11階

〒135-0064 東京都江東区青海 2丁目4番7号 ゆりかもめ・テレコムセンター駅前 電話：03-3599-8001

主催 独立行政法人 産業技術総合研究所 **参加費** 無料 **定員** 80名

協賛 (国) 大阪大学、(社) 日本物理学会、(公社) 応用物理学会、
(社) プラズマ・核融合学会、バイオテクノロジー開発技術研究組合、
プラズマ医療・健康産業フォーラム

最新のフォトモジュールやナノマテリアル等の部材を用いて、次世代の検査・診断システムの開発が進められている。今後の医療機器産業の競争力強化には、半導体等の超微細加工技術や、安価で信頼性の高い大量生産技術を、医用部材加工や診断・治療機器生産の共通基盤技術として展開することが必要な状況となっている。一方、半導体製造で培われたエコロジ的な生産技術は、使い捨て消費を原則とする医療活動を、環境にも配慮した活動への変換のきっかけになると予想される。そこで我々は、大学、医療機関、製造メーカー、政府機関の有志が集まる場としてプラズマ医療・健康産業フォーラムを立ち上げ、環境調和型医療の実現に向けた研究開発体制の構築を進めている。

第2回シンポジウムでは、プラズマ発生等の半導体製造技術の導入によって解決されるアンメットメディカルニーズを明確にし、解決に向けた問題点を共有したい。さらには、日本が技術的優位性を保持してきた技術を用いる事で、環境調和型医療によるライフイノベーションの実現とその方策を検討したいと考えている。

午前の部

司会 浜口智志 (大阪大学 教授)

10:00-10:10 開会挨拶 湯元 昇 (産総研 理事)

10:10-10:30 基調講演「経済産業省における医療機器産業政策について」

村上智信 (経済省 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長)

10:30-10:50 「プラズマ医療・健康産業研究の最前線」

榊田 創 (産総研・エネルギー技術研究部門 グループ長)

10:50-11:15 「日立における先端計測技術の医療利用」

坂入 実 (日立製作所・ライフサイエンス研究センター センター長)

11:15-11:35 休憩

司会 湯田坂雅子 (産総研 チーム長)

11:35-11:55 「メディカルニーズとプラズマ技術の接点」

池原 譲 (産総研・糖鎖工医学研究センター チーム長)

11:55-12:20 「近赤外蛍光を用いた生体計測と医療応用への可能性」

小田一郎 (島津製作所 部長)

12:20-12:45 「半導体製造プロセスにおける

プラズマ利用および製造環境の異業種展開」

瀬川澄江 (東京エレクトロン・開発企画室 グループリーダー)

午後の部

司会 池原譲 (産総研 チーム長)

14:15-14:40 特別講演1「内視鏡下プラズマ治療の実際とその可能性」

清水伸幸 (東京大学医学部付属病院 准教授)

14:40-15:10 特別講演2「これからの創傷治療」

夏井 睦 (石岡第一病院・傷の治療センター センター長)

15:10-15:30 休憩

司会 榊田創 (産総研 グループ長)

15:30-15:50 「波長1～2μm 帯高感度赤外センサーの開発と医療応用」

小倉陸郎 (アイアールスペック株式会社 取締役)

15:50-16:10 「カーボンナノチューブの分子プローブとしての可能性」

岡崎俊也 (産総研・ナノチューブ応用研究センター チーム長)

16:10-16:30 「ナノカーボンのドラッグデリバリー応用の可能性」

湯田坂雅子 (産総研・ナノチューブ応用研究センター チーム長)

16:30-16:50 「バイオ計測技術の開発におけるプラズマ技術の応用」

鳥村政基 (産総研・環境管理技術研究部門 グループ長)

16:50-17:00 「プラズマ医療・健康産業フォーラムの今後の活動予定」

浜口智志 (大阪大学大学院・工学研究科 教授)

17:00-17:30 座談会 (兼名刺交換会、希望者)

参加申込

下記ホームページにて、お申し込みください。
定員になり次第締め切らせていただきます。

問い合わせ・申込先

独立行政法人産業技術総合研究所内シンポジウム事務局

電話：TEL：029-861-2742 FAX：029-861-3252

E-mail: plasma-med@ni.aist.ac.jp

URL: <http://unit.aist.go.jp/rcmg/rcmg-mm/ci/CCP024.html>

アクセス

